

建築士

おおいた

春季号

2021 NO 126



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 公益事業の成果	佐賀関支部 渡邊 豊基 別府支部 小山 秀輝 佐伯支部 河野 功寛 大分支部 野口 浩平 調査・歴史委員 安倍 秀士 防災委員会 後藤 憲二
08 日田に流行した安政6年のコレラ	廣瀬資料館 園田 大
09 インフォメーション (支部便り)	大分支部 甲斐 啓大 宇佐支部 古市 憲司 臼杵支部 梅田 雅也
12 我が街の建築士紹介	佐賀関支部 上田 亮 佐伯支部 田邊 正彦 臼杵支部 森尾 英樹
13 マイワーク	日田支部 頓宮 英敏 宇佐支部 光井 智 中津支部 稲月 篤
16 マイベストブック	大分支部 寺谷 郁宏 大分支部 後藤 瞭典 別府支部 小山 秀輝 別府支部 中原 健
18 我が街紹介	日田支部 財津 加奈子
19 マーボアの旅先日記	会 長 井上 正文
21 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

両子寺

設計：別府支部 新山 俊則

令和2年度 公益事業の成果

佐賀関支部

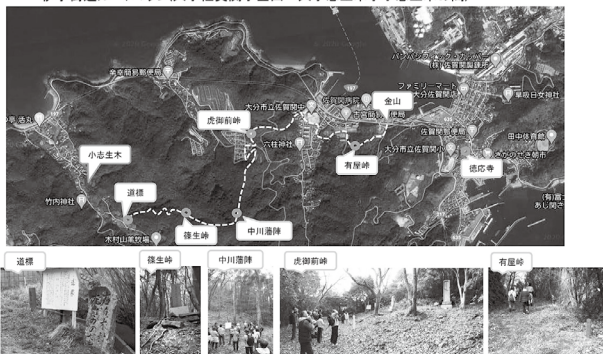
佐賀関支部 渡邊 豊基

佐賀関支部公益事業活動報告

今年度の公益事業は「幕末の志士が往還した伊予街道を小学生と歩きながら考えるウォーキング大会」として、令和2年11月6日に開催しました。

この事業の目的は、幕末に活躍した勝海舟や坂本竜馬たちが駆け抜けた「伊予街道」を地元の小学生とウォーキングしながら、佐賀関の歴史や景観及び歴史的建築物について、観光ボランティアと協働してヘリテージマネージャーの観点から保全や活用策を考え、将来を担う地域の子どもたちへその活動を周知し地域愛を育むこととしています。

伊予街道ルートマップ(大字佐賀関字金山～大字志生木字小志生木の間)



参加者は、佐賀関小学校の5年生と6年生及び校長、担任の約20名。ボラガイド協会から10名。本会から7名の参加です。

さて、開会式は佐賀関の金山地区としていましたが、急きょ、佐賀関小学校に変更となったことから、出発前の開会式に本会の参加は出来ず、途中から合流となり、朝からハプニングです。せっかく支部長の挨拶を準備していましたが、発言することはありませんでした。(笑)



さて、一行は、佐賀関小学校をスタートし、金山地区から、いよいよ伊予街道に分け入りします。

最初の峠である「有屋峠」越えです。



ボラガイドの後藤さんを先頭に、勢いよく進みます。この峠の沿道には、大正時代以降、日鉱佐賀関製錬所の病院や社宅が建立され、大変賑わっていましたが、現在は、全て解体撤去されています。階段状の宅地跡を見ながらガイドしました。

峠を越え、次は、古宮地区に進みます。この地区には、大正時代に、豊予要塞司令部が設置されました。その司令部の官舎が文化財として登録されていることから、ヘリテージマネージャーの久野氏にガイドしていただきました。



司令部のあった敷地は、現在、佐賀関中学校のグラウンドとして利用されており、当時の建造物としては、煉瓦造りの門柱が残っているのみ。小学生たちは、いずれこの中学校に通学することとなることから、その歴史の重みを感じていただきました。

その後、中学校裏に現存している司令官舎を案内し、建築様式や文化財登録までの活動の苦労、そして保存や活用策について資料を基にガイドしました。



拠点とした場所で、ガイドさんの説明を受けました。



一行は、篠生峠を一気に登り、下りの急坂を難なく歩み、小志生木地区へと歩を進めます。

ここで、ハプニングが発生。ボラガイドの男性が、足が痛いと言った顔面蒼白な状態になり、ガイドどころか一歩も進めない状態に。

一時休息して、なんとか歩けるようになりました。

小志生木地区からは、街道を外れ、海岸線にある旧佐賀岡鉄道軽便敷きを歩みます。

この道は現在、ウォーキングやサイクリングに使用されており、ほぼ平坦で歩きやすく整備されています。

一行は佐賀岡小学校まで元気に歩き、本大会を終了しました。

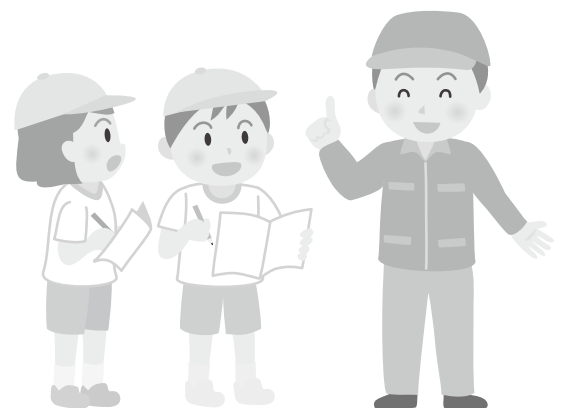
参加された皆様には、大変お世話になりました。またの参加を期待しております。

一行は、伊予街道の最大の難所である「虎御前峠」と「篠生峠」に進みます。

この2つの峠は、普段、人が寄り付かないことから、倒木や雑草が繁茂しており、事前に除去作業をして、通行の安全を確保していたものです。

それでも、いたるところに転石やがけ崩れした箇所もあり、小学生たちがケガしないかと心配しておりましたが、それは杞憂に終わり、みなさん勢いよく元気に行進していました。

途中、関ヶ原の合戦以降、全国にその戦が飛び火し、佐賀岡でも合戦がありました、中川家の軍勢が仮の



別府支部 小山 秀輝

折り紙建築教室の継続開催

【折り紙建築教室】

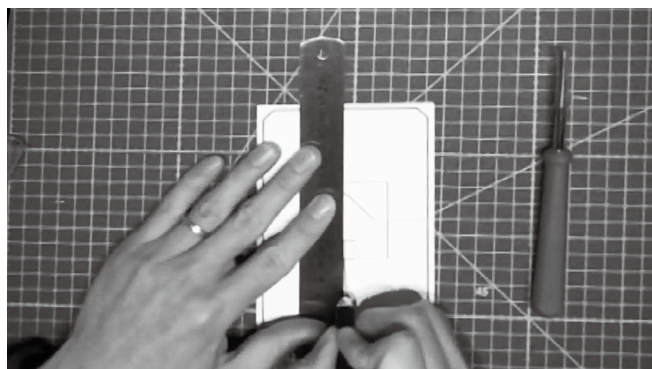
日 時：令和2年12月14日(月)
 ～12月25日(金)
 10：00～18：00

場 所：明石文昭堂（別府市駅前町11-10）

別府支部青年部の活動として、子どもたちに建築への興味を持ってもらえることを目的とし、毎年折り紙建築教室を開催しております。

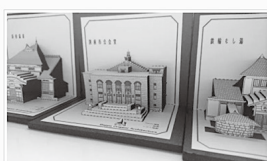
例年は「ひじ産業文化まつり」の企業展示ブース会場の一画をお借りしてワークショップを行ってきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で祭りが中止となりました。そこで今回はワークショップを行わず、別府の市民芸術祭「ベップ・アートマンス 2020」に出展し折り紙建築を展示することとしました。

また、ただ展示するだけでは興味をもってもらえないかもしれないので、何種類か台紙を用意し、アンケートに答えていただいた方に無料で配布し



別府町じゅう文化祭 ベップ・アートマンス 2020 12/14(21)・14(21日) 会場:別府市駅前町11-10

047 Beppu Origami Architecture



切る、折る、建てる。

これまで、大分県建築士会別府支部では折り紙建築を通して、建築の面白さや地域の建物の大切さを伝えてきました。折り紙建築とは1枚の紙を切り折りし、建築物などを立体で表現するペーパーカットの1つです。今回の企画ではワークショップは行いませんが、展示と台紙の配布を行いますので、ぜひ見に来てください。

写真：藤原 全

開催日	12/14(月)～28(土)
時間	平日10:00～18:30 土・日10:00～18:00
場所	明石文昭堂 (別府市駅前町11-10)
定員	なし
料金	無料
駐車場	なし(近隣の有料駐車場をご利用ください)
備考	不要

プログラム企画者

大分県建築士会 別府支部

建築士会は、建築士法の規定によって都道府県ごとに設置された唯一の公益社団法人です。建築文化の振興を図るための事業を実施し、社会貢献することを目的として、日々活動しております。

ました。

作り方については動画を制作しYouTubeで公開することで、家で作れるようにしました。

アンケートの内容を見ると「なじみの建物がこんな形で見られて楽しかった」、「家で子供と作りたい」「あの建物も作って欲しい」など、幅広い世代から様々な感想がいただきました。

コロナ禍でどのような活動ができるのか手探り状態ではありますが、今回このような形で折り紙建築教室を行ってみて、反響も大きく色々な発見もあり、収穫のある活動となりました。来年度はワークショップを開けるよう願いつつも、今年度のような活動も引き続き行っていききたいと思います。

佐伯支部 青年部 河野 功 寛

景観づくりワークショップ

「街並みに調和したゴミ収集ボックスをつくらう」

佐伯市では、佐伯の良好な景観を次の世代へと引き継いでいくために、令和2年度から佐伯市景観計画及び佐伯市景観条例の運用が始まりました。

その中で、佐伯の象徴となる街並みが残されている「山際周辺エリア」及び「船頭町エリア」は景観形成重点地区に設定されており、今回はこのエリアの景観形成に寄与する活動を公民が連携して取り組めないかとの提案を市建設部都市計画課から受け、エリア内の通り沿いに設置する「街並みに調和したゴミ収集ボックス」を製作する景観づくりワークショップを共同で企画しました。



開催にあたっては、ワークショップの企画・運営は市建設部都市計画課、設計・施工は建築士会青年部が担い、材料となる木材は佐伯広域森林組合から市産材の供給支援をさせていただき、製作作業は設置するエリアの地域住民を主体とした市民の方々に参加してもらう仕組みで開催しました。



建築士会青年部により、景観と調和した意匠や日常の使いやすさ、サイズ感を考慮しながらボックスの設計を行い、試作で微調整を加えながら、木材加工までを事前準備して当日のワークショップを迎えました。

ワークショップ当日（令和2年12月6日）は、小春日和の気候の中、幼い子どもから高齢の方までの幅広い世代の方々30名程度により、計4つのボックスをグループに分かれて製作しました。初めはぎこちなかった作業も徐々に手際が良くなり、どのグループも予定通りの時間内に完成させることができました。完成したボックスを実際に通りに配置するまでを参加者のみなさんで行い、「おぉー」「中々いいねー」と満足の声が多く聞こえ、設置後の周囲の方々からの評判も良く、景観形成に寄与するボックスが作れたのではないかと思います。

今回の景観づくりワークショップは、製作したものを設置して景観の向上を図るということが一つの大きな目的ではありましたが、それ以上にそれぞれの立ち位置の方々が共同で作業し、顔を合わせながら一つのものを作り上げることで得られる目には見えない気持ちの部分の効果を強く体感しました。

まだまだコロナ禍で様々な動きが制約されるご時世ですが、その中でも建築士会佐伯支部として、このような行政や事業者、市民との連携した公益活動を推進していければと考えております。



今回の景観づくりワークショップに参加いただいたみなさま大変お疲れ様でした。

大分支部 青年部 野口 浩平

「第2回建築模型製作体験」について

12月20日(日)午前10時から午後5時半までコンパルホール309会議室で鶴崎工業高校建築科11名(1年2名・2年6名・3年3名)大分工業高校建築科4名(2年2名・3年2名)の生徒さん15名と鶴工の猪野先生が参加され「安藤忠雄の住吉の長屋をつくる!建築模型製作体験」が行われました。

これは建築模型をつくる作業を通じて、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、建築がかたちとして現れる過程を感じてもらうことを目的に企画したものです。造形班の野口さん、市野瀬さん、若松さん、高山さんがスタッフとして参加いただきました。

まず、講師の松田周作様(会員)から模型製作の役割等のお話があり、次に「5センチ・キューブ」

の製作を行いました。この練習課題があったおかげで次の模型製作もスムーズに行えたのではないかと思います。

お昼休憩の間に、松田氏が設計した「田北学院リノベーション」を見学する機会が得られ、模型だけではなく実際に完成した建築も体験することが出来ました。

時間内に完成することが出来なかった方もいましたが、皆さん貴重な体験が出来たのではないかと思います。

鶴崎工業高校の猪野先生も一日付き添われ、生徒さんへお声がけをいただきました。ありがとうございました。

大分合同新聞(令和2年12月23日)にも記事が掲載されました。



委員 安倍 秀 士

「関埼灯台建造物調査」について

年明けに大分市教育委員会文化財課より「関埼灯台」の建物等の調査依頼がありました。これは「関埼灯台」を登録有形文化財にするための調査です。

灯台の概要等です。

- ・1901年（明治34年）7月20日点灯
- ・地上～構造物頂部 11m
- ・平均水面上～70m
- ・構造 鉄板
外壁～鉄板製
- ・光源 大正15年までは石油灯、それ以降電化された。
- ・昭和45年に無人化された。それまでは職員は敷地内にある宿舎で生活。

本部の公益事業で、大分支部からヘリテージマネージャーの方や佐賀関支部、別府支部の方も調査員として参加いただきました。

1月17日(日)に現地集合し屋外調査班と屋内調査班に分かれて行いました。当日は風が強く大変寒い日でした。屋外調査はまず敷地周囲の雑木を草刈り機や鎌で切り払っていき、その後平板や機器を使った測量をおこないました。25日(月)に海上保安庁の方、立会いのもと内部調査をおこないドローンによる空撮も実施しました。

3月末までには、報告書が完成予定です。（関埼灯台の埼は、埼玉県の埼となっています。）

皆さん春になったら、是非、灯台を見に行ってください。素晴らしい景観です。



灯台と岬



灯台（東南方向を望む）



調査前打合せ



昭和38年頃（手前に官舎2棟）

防災委員会 後藤 憲二

被災建築物応急危険度判定訓練研修会

被災建築物応急危険度調査の対象となり得る震度6弱以上の地震は過去5年間で10地区18回発生しています。平成28年度の熊本地震では、大分県内でも別府市や由布市などで大きな被害が発生したことは記憶に残っています。この熊本地震では、阿蘇大橋が崩落し熊本県側からのアクセスが難しいことから、大分県が南阿蘇村の応急危険度判定を行いました。建築士会からも多くの会員が判定に参加しました。

しかし、これまでに応急危険度判定活動に携わった経験のある士会員は少ないのが実態です。



判定士の活動は、県内だけではなく、要請を受けた近隣県も活動の場所となります。

判定業務への参加の意思確認は判定士の登録主体である県が災害対策本部を設置した市町村の要請のもとに関係団体の協力を得て行います。

調査は、市町村の設置した災害対策本部の指示のもとに2人から3人一組で調査を行います。いざ判定活動を行う際に滞りなく判定活動を行うためには事前に判定活動の経験があることが大きな助けになると思われます。

そのため、建築士会では、講習やテキスト学ぶことに加え、判定活動の実施を想定した出動要請の照会を行うなどの、都道府県、市町村や判定士への連絡訓練や除却予定の建築物を被災状態に加工を行った（被災条件を張り紙に記す場合もあり）モデルを使用して、実践的な訓練を通してスキルアップを図ることを実施しています。

連絡訓練は、毎年8月下旬に行っています。実践的な訓練は昨年度までに豊後大野市の木造市営住宅を別府市の元県立高校のRC造の校舎及び体育館を利用して2回開催しました。

今年度は、以下の2回開催しました。
令和2年11月：日田市にてRC造の県営住宅旧集会所を利用し、17名が参加して開催



令和3年2月：津久見市にて木造の旧市営住宅7棟を利用し、23名が参加して開催



初めて応急危険度判定を経験する参加者は当初一連の判定活動を戸惑いながら進めていましたが、回数を重ねるごとに手際よく進めていました。

今後も定期的に応急危険度判定の実践的な訓練研修会を県内各地で開催していきたいと考えています。被災建築物応急危険度判定士登録をされている方々はぜひご参加ください。（登録前の方も大歓迎です。）

今年度の研修を開催するにあたり、判定する建築物をご提供頂いた大分県及び津久見市、研修会開催を共催していただいた大分県土木建築部建築住宅課、大分県建築物総合防災推進協議会に感謝申し上げます。

日田に流行した安政6年のコレラ

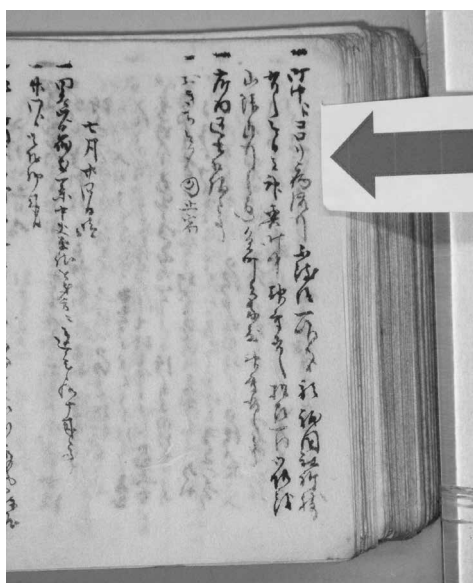
廣瀬資料館 園 田 大

現在、日本では「新型コロナ」が広く感染し、その規模は世界にまで及んでいます。感染症は江戸時代にもありました。今回は安政6年（1859年）の「コレラ」を『広瀬久兵衛日記』から見てみましょう。

■「コレラ」と「コロリ」

コレラは江戸時代にはオランダ商人から「コレラ」として伝えられました。しかし、日本人は当て字で「虎列刺」、民衆たちでは語感から「コロリ」と呼ばれました。「コロリ」とは簡単に倒れてしまう病気の意味で使われました。

日記には7月20日から記録され、7月23日には「町中へコロリ病流行」とあるように、「コロリ」は広く日田でも流行りました。



■祈禱と奉納

7月20日に記述があり、「宮太夫稲荷に今日より3日3夜の祈禱を相願い」とあります。2日後の7月22日には、長福寺境内でも昼夜の祈禱が行われました。他に「悪病」のため大原八幡宮でも7月28日・8月3日に、また太宰府から六度寺の僧が派遣され城山でも催されました。

その他、日田商人達は8月11日に大原八幡宮に大鈴を奉納、8月13日には病人がいるものの縮小して放生会を行いました。この時は神輿と参詣のみとあります。

■人にも拡大

「コレラ」は広瀬本家にも及びました。広瀬家では3人が感染し、大変苦労しました。

●広瀬久兵衛（1790～1871）

淡窓の弟久兵衛は7月27日から下痢の模様で日田医者 of 諫山氏を招き服薬しました。8月4日は本家の新座敷に移り、寝たと記録しています。その後も諫山氏の薬を飲んでいきます。



●広瀬林外（1836～1874）

旭荘の子供・淡窓の養子の林外は8月20日から体調が悪く、豆田町と隈町の医師、同日の夕方には田主丸医師二宮氏を招き、薬を作り服薬しました。金額は24両もかかりました。



●広瀬きぬ（？～1859）

「コレラ」で病死した人もいます。きぬは優れず、8月14日に古座敷で大宰府の六度寺の僧により護摩の祈禱が行われました。この祈禱は絶えず行われましたが、8月17日に死去しました。

江戸時代の人には恵まれない環境のなか、「コレラ」に立ち向いました。今回は書簡から日本の「コレラ」感染をみてみます。

インフォメーション

INFORMATION

大支部



Web会議のすゝめ ーオンライン会議の 進め方と成功のコツー

大支部 甲 斐 啓 大

コロナ禍において、オンライン上での会議は欠かせない存在になりました。新しい会議の形式はあっという間に広まり、コロナが収束してもおそらく定着すると思われます。

そんな中、自己流でWeb会議、もしくは会議自体を行っていた方に向けて研修を行いました。

講師には、研修講師や人材育成の企画を行われている高田亜希子氏をお呼びしました。大阪在住で、研修当日も遠方からZOOMでつないで開催しました。研修には講師の方を含めて14名の方がPCの画面に揃いました。



まずは各々の自己紹介から。服の薄い方からというユニークな順番で、Web会議の頻度や今の気持ちを発表しました。参加者全員の紹介は時間がかかりますが、会議の一体感をつくることができます。次にOARR（オール）という基本となるコツの説明を受けました。

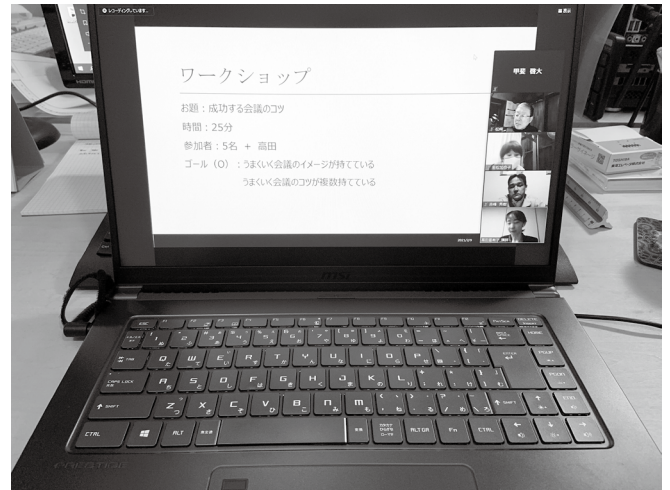
(O : output-ゴール、成果物、A : agenda-アジェンダ(議題)、R : role-役割、R : rule-ルール)

その後はOARRを使った実演です。参加者の中から5名の方にしぼり「成功する会議のコツ」をお題に、制限時間を設けて会議を行いました。

・うまくいった会議、うまくいかなかった会議

を思い出す（2分）

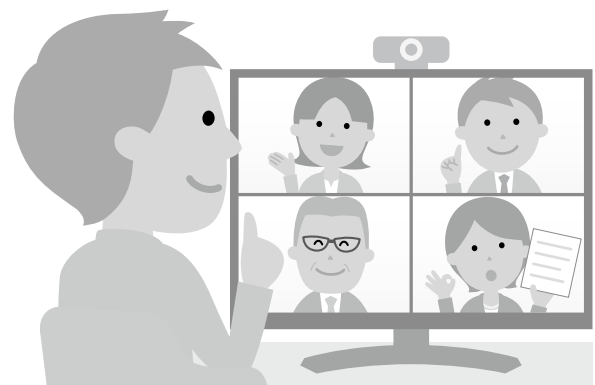
- ・1人1分程度話してコツを洗い出す（15分）
- ・出てきたコツの共通点を見つけてグループ分け（3分）
- ・グループに分けて気づいたことをまとめる（5分）

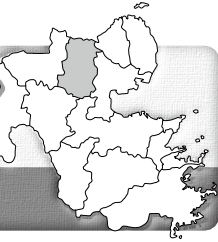


以上のようなタイムテーブルを最初に共有して、同じ方向に向かって会議が作られていく様子を体感できました。

最後に質疑応答を行い、普段のweb会議における疑問や悩みを解決する時間を設けました。

研修を見ていて感じたことは、参加された皆さんが徐々に積極的に発言をされるようになったことです。大人数のWeb会議では話さない（話せない）人がどうしても出てきますが、進行役の工夫で円滑なコミュニケーションを促すことができる。目の前でその会議ができていく様子を体験できて、大変有意義な時間を過ごすことができました。





支部会員の活動報告

宇佐支部 古市 憲司

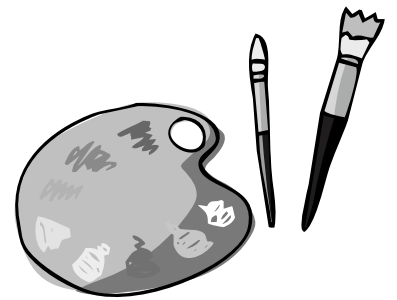
現宇佐支部長である栢田康一氏の水彩画展が、大分県信用組合長洲支店にて令和3年1月に開催されました。

展覧会は、支店内の受付前正面ロビーで行われ、勤務される職員をはじめとして、ここを訪れる地域の住民の方々や来客の方の目を楽しめるよう工夫されていました。

私も以前から栢田支部長の建物を中心とした水彩画を目にする機会が多くありましたが、展覧会という形では初めてでした。

水彩画ならではの爽やかなタッチが、栢田氏独特の視点による構図と相成って、優しい空間を描き出していると改めて感じました。

これらの絵に込められた背景や、描いた時の心情等については栢田氏より改めて報告していただきたいと考えています。





年末最後の大仕事 石仏ボランティア清掃

臼杵支部 梅田 雅也

去る令和2年12月27日(日) 毎年恒例となっている臼杵石仏の参道清掃を行いました。朝早く寒い中集まり、各々参道に生えている苔取りをしました。



集合時には肌寒かったものの作業を始めて数分後には汗ばむようになり1枚…また1枚と上着を脱ぎつつ根強く生えた緑苔をワイヤーブラシ付きのケレン棒?でガリガリとこそぎ取りました。



例年参道全体を清掃するわけですが日当たりの関係なのか湿気の関係なのかわかりませんが今年は特にホキ1群周辺の参道に青々と生えており、各々散って作業を行っていた参加者も終盤には全員そろって一心不乱に清掃を行いました。おかげで参拝に来た方々が足を滑らせることも減ったんじゃないかと思います。



清掃活動が終わった後は用意していたぜんざいをいただき汗で冷えた体を温めつつ支部活動ができなかった1年の反省や次年度の活動に向けての話をし1年間の締めとなりました。

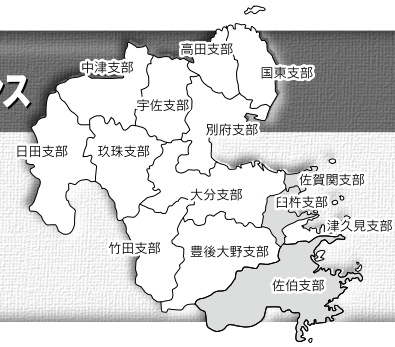


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

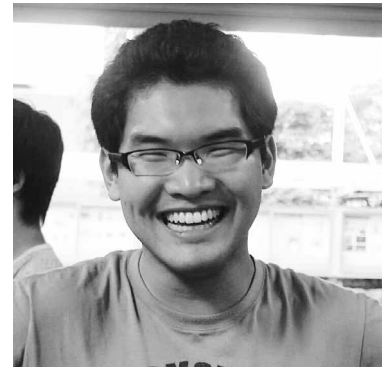
我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 上田 亮
- ★生年月日 平成8年
- ★勤務先 大分市役所
- ★趣味 自転車、音楽
- ★将来の夢、モットー等

大分市役所まちなみ整備課三佐北・細地区住環境整備事務所の上田と申します。高校・大学と7年間建築の勉強をつづけ、市役所に就職し、現在は用地買収と建物補償の業務を行っております。入庁から今年で3年ですが、業務で扱う建築の知識は多岐にわたり、時には全く別分野の知識も必要になることを痛感しました。常に学ぶ姿勢を忘れず愚直に懸命に突き進み、多くの人に信頼してもらえぬ職員になれるよう努力していきます。よろしくお祈いします。



上田 亮 (佐賀関支部)

- ★氏名 田邊 正彦
- ★生年月日 昭和56年
- ★勤務先 佐伯市役所
- ★趣味 釣り、バイク
- ★将来の夢、モットー等

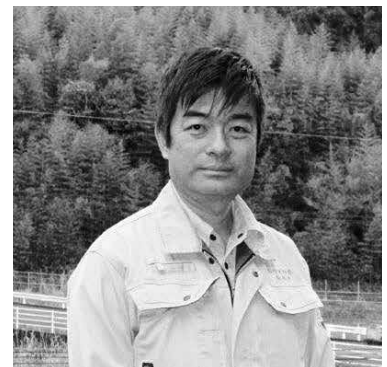
佐伯市役所に勤めております田邊正彦と申します。建築住宅課、施設整備1係に所属しており、公共工事や設計業務の発注、監理等の業務を担当しています。建築士会に入会して6年になります。佐伯支部では主に青年部の活動に参加し木工WS等を通じて支部の先輩方と交流しながら色々学ばせていただいております。また、建築士会の活動を通じて、建築士としての知識を深めながら、地域のために貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお祈いいたします。



田邊 正彦 (佐伯支部)

- ★氏名 森尾 英樹
- ★生年月日 昭和49年
- ★勤務先 (有)野津住建
- ★趣味 スキー、サルサダンス
- ★将来の夢、モットー等

有限会社野津住建の森尾英樹と申します。住宅、店舗等の設計・施工、及び公共工事の施工・工事管理を行っております。個人・法人・公共機関と多岐にわたる発注者様や利用者様、各々の要望や潜在ニーズを引出し、その人の立場に立って思案し応えていく。そして、みんなに満足して頂ける「もの造り」を目指して頑張っています。その為に必要な知識や経験を、建築士会を通じて勉強していきたいと思っております。よろしくお祈いいたします。



森尾 英樹 (臼杵支部)

MY WORK

- ★建物名称 吊下げ式バスケットゴール
- ★建築場所 山口県
- ★構造 鉄骨造
- ★設計者 株式会社 九州体育施設
- ★施工者 株式会社 九州体育施設
- ★設計趣旨

地震により落下する可能性のある非構造部材は耐震対策されている必要があります。

弊社では日々の製品改良により、安全に利用できる耐震化したバスケットゴールを設計・施工しています。



- ★建物名称 こども園遊具設置
- ★建築場所 大分県蒲江町
- ★構造 鉄骨造
- ★設計者 株式会社 九州体育施設
- ★施工者 株式会社 九州体育施設
- ★設計趣旨

設置場所が海の近くなので、メインの複合遊具には海の生き物を外観に取り入れて、こども達に楽しんで貰えるよう設計しています。また、ブランコでもキリンをモチーフに設計し、一般的なブランコより楽しめる外観にしました。



MY WORK

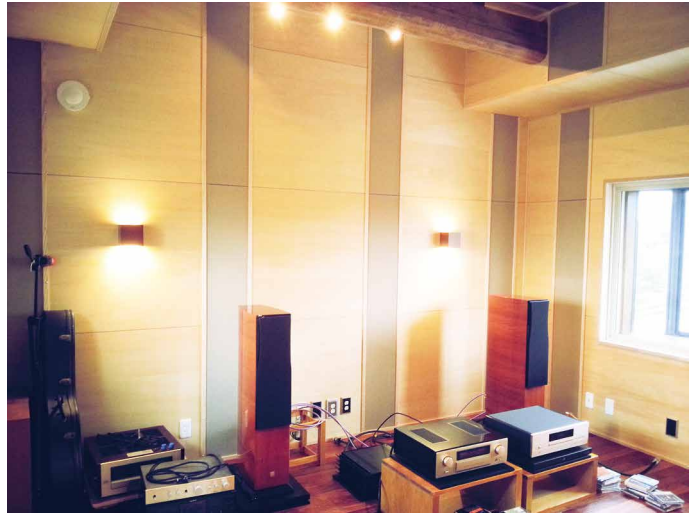
- ★建物名称 某宅内オーディオルーム増設
- ★建築場所 大分県宇佐市
- ★用途 オーディオルーム
- ★床面積 約16㎡
- ★構造 木造
- ★設計者 ひかり建築工房(代表 光井智)
- ★施工者 ひかり建築工房(代表 光井智)
- ★設計趣旨

「石井式リスニングルーム」を参考に設計を行った。

防音性能=気密性能とも言える。入口ドアは防音ドア、サッシ部分は内窓を施工した。壁床天井の入隅処理はゴムシートをボードに挟み込むように施工した。気密性が高く、空気を入れ替えるために防音ダクト換気扇を設置した。

オーディオルームの大事な機能として、防音性能はもちろんのこと、吸音性能と反射性能が必要となる。適度な音の反射を得るため、厳選した仕上げ材(床板はカリン無塗装品、天井壁はシナベニヤ)を使用し、室内の縦横高さ比を理想の値に近づけた。この為天井は高くなり、梁が現しとなった。隣室との界壁は屋根裏も防音処理を行った。

基本下地ピッチは、1尺=303mmとした。オーディオルームの性質上正確な割り付けが必要となるため、材料の規格に合わせた無駄の出ない設計となっている。電気配線もオーディオ専用のものを使い、アースにも配慮して施工を行った。



MY WORK

- ★建物名称 HOUSE T
- ★建築場所 福岡県豊前市
- ★用途 住宅
- ★床面積 99.37㎡
- ★構造 木造平屋建て
- ★設計者 稲月篤建築設計事務所
- ★施工者 自主施工
- ★設計趣旨

福岡県豊前市にある夫婦2人と子供が住む住宅である。周辺環境は畑が広がり、景観に恵まれた開かれた敷地である。

計画敷地も200坪と広大な土地面積があり、住宅部分より非住宅部分の割合のほうが多い敷地となる。

本計画は広い敷地を利用して、奥行のある大きな庭を取る計画とした。この庭に面して、大きな開口窓を配置し、室内からも庭を感じられる計画とした。また、この大きな開口窓の先には軒下空間が広がり、大きな庭と室内をつなげる空間となる。

この名のない軒下空間が生活する家族の領域を広げ、生活シーンによって何にでもなる空間となる。

この空間と庭がどんな生活のシーンに変貌するのか楽しみな住宅である。



BOOK My Best Book

マイベストブック

『文字のきほん』

著者：伊達千代／出版：グラフィック社
大分支部 寺谷 郁宏

本のタイトルを見て頂いた通り、「文字」や「書体」についてわかりやすく現代的にまとめられた本のご紹介です。

この度、ご紹介したいと思った理由についてですが、私は建築設計事務所で意匠設計を生業としています。図面や書類を作成するうえで、見やすさ、読みやすさのために何気なくゴシック体や明朝体を選択するのが一般的でしたが、商業看板や施設看板（サイン）などはデザイン性を持たせるためには複数の書体の中からイメージに合った書体を選定します。そういった「文字」や「書体」について知識を深めたいと思い手に取ったのがこの本でした。

「文字」は普段よりパソコンやスマートフォンの画面、TVや動画チャンネルのテロップ、新聞、雑誌、小説など。私たちの生活には至るところに文字があふれていて、文字を見ずに過ごす日はありません。誰もが文字を読んで、喜んだり悲しんだりします。文章の内容によって人生の重大な決断に至ることもあると思います。人と人とのコミュニケーションに欠かすことのできない大切なもの、それが「文字」だと著者は話します。

この本はそんな「文字」そのものに焦点を当てており、なぜ世の中にはこんなにも多くの種類の文字があるのか。その文字にはどんな意味や歴史があって、どんな人たちの手を通じていま私たちの前に現れているのか。実際に身近な場所で文字をどう扱ったらよいか。写真や説明図を取り入れ平易な言葉でわかりやすく解説しています。文字に関心を持ちつつ詳しく知る手段のなかった方や、より効果的な文字の使い方に悩んでいる方には、いくつかの答えやヒントが見つかることと思います。これまで文字そのものについて考えたことが無かった私ですが、文字の魅力に触れることで「文字」の知らない世界を知ることができました。また、「文字」と建築の関係性などを発見することができたと思います。

最後に豆知識ですが、皆さんは「書体」と「フォント」を同じ意味で普段から使っているのではないのでしょうか。実は、「書体」と「フォント」では意味が違います。太く直線的なデザインや曲線が多く装飾的なデザインなど、一つの文字の造形のことを「書体」「書体デザイン」と呼びます。一方、フォントは共通の書体で作られた文字の集まり（セット）のことです。例えばアルファベットはabcde…と26文字揃ってあれば「apple」も「love」も同じ書体で表すことができます。日本語の場合は、ひらがな、カタカナ、漢字などを一定の規格に沿った文字数を同じ書体で用意したものを「フォント」と呼びます。ちなみに「書体」は英語では「Typeface」、「フォント」は「font」です。



『コロナ禍の9割は情報災害』

withコロナを生き抜く36の知恵』

著者：長尾和宏
大分支部 後藤 瞭典

私は、大分支部 大分市役所に勤務している後藤瞭典と申します。

最近話題の本ということで、私が紹介する本は、「コロナ禍の9割は情報災害 withコロナを生き抜く36の知恵」という本です。

この本は、新型コロナウイルスの最新情報を提供するとともに、「歩行すること」によって感染を予防・克服することについて解説している本です。

自然免疫は「歩行すること」によって向上すること、新型コロナウイルスの98%は自然免疫で処理されること、新型コロナウイルスよりそれに関連する病の方が100倍心配であることなど、感染対策の根本を教えてくれるとともに、コロナによって派生する関連問題をわかりやすく解説し、紹介している本となっております。

新型コロナウイルスの蔓延がいつまで続くか予想できない中で、誰にでもできる簡単な予防法ということで、毎日行う動作である「歩行すること」をキーワードに展開されているため、どなたも捉えやすく、1度は読んで欲しいものとなっております。

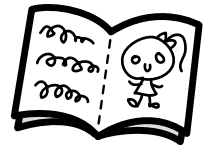
なお、新型コロナウイルスとの関わり方を実感できていない方や他人事だと思っている方は一度読んでいただくとその考え方が変わり、改めて新型コロナウイルスの恐ろしさや感染予防のためには小さなことの積み重ねが大切であるということを再認識できると思います。

コロナ禍を紐解いていく上では必要になってくる、そんな1冊です。





My Best Book



マイベストブック

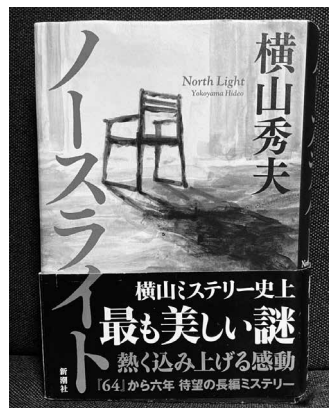
『ノースライト』

著者：横山秀夫／出版：新潮社
別府支部 小山 秀輝

去年は、支部研修旅行で門司にあるアントニン・レーモンド氏設計のクラブハウスを見学したり、東京のパナソニック汐留美術館で開催された「モダンデザインが結ぶ暮らしの夢」という企画展でブルーノ・タウト氏や剣持勇氏たちの家具を見たり、何かと日本のモダンデザインというものに触れる機会が多い一年でした。そんな中、知り合いがこの本を読んで涙腺が崩壊したと聞き、読んでみるとブルーノ・タウト氏の椅子をめぐってのミステリー小説...つい先日タウトの椅子見たばかりだなと思いながら読んでいくと、何とも哀愁と情熱に溢れた感動作でした。

主人公は、バブルの好景気時に店舗設計の事務所で働いていた建築士で、現在は大学の同級生の設計事務所に拾われ設計をしているバツイチの男。ある日、自分の設計した北側採光の家を訪ねると、依頼主一家が住んでいた形跡はなく、ブルーノ・タウト風の椅子だけが残されていました。その謎を追っていく主人公。真相は、なるほどそういうことか！となるのですが、そのことよりも主人公と所長の友情や哀愁、そして登場人物たちの様々な人間模様に感動させられます。

昨年末にドラマ化され、主人公を西島秀俊、所長を北村一輝、主人公の元妻を宮沢りえ等々、ドンピシャかつ豪華キャスティングに驚きましたが、何より驚いたのは主人公の設計した北側採光の家を実際に建てていたことです。NHK凄い…ぜひご覧ください。



『シュガーマンのマーケティング30の法則』

著者：ジョゼフ・シュガーマン／出版：フォレスト出版
別府支部 中原 健

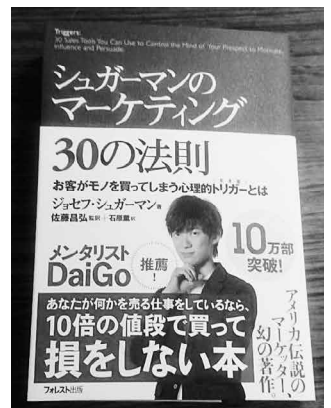
「あなたが何かを売る仕事をしているなら、10倍の値段で買って損をしない本」この帯のキャッチコピーを見て興味を抱かない人がいるだろうか。

私はモノを売るということをしていない職種に就いているため、あくまでマーケティングの知識を学ぶために本を探していたが、この一言を見て本を手に取り購入した。顧客のニーズも広告のありかたも大きく変化しているこの時代の中で、安定的に物を売り続けることができる人がいるとは思っておらず、「あなたに売れないものはない！」の冒頭の言葉に、期待感と同時に猜疑心をもってしまうのは私だけではないのではないか。

この本にはセールスでより多くの成功を得るための30の法則が詳説されており、その中で印象的だった「心理的トリガー」について書き記す。「心理的トリガー」とは、お客の心に働きかけ、心を動かし、購入を決めさせる引き金のことである。本書は様々な事例やエピソードを取り上げ効果のある手法とその理由、使うタイミングなどを多面的に理解できるようになっている。お客が物を買う理由の95パーセントは、「無意識の決断」だとされており、販売プロセスで起こるどんなことがお客のトリガーとなり潜在意識にどういった反応を起こさせるのか理解することが重要である。

誰も一度は他人にお願いをする機会がある。その際に本書にある心理的トリガーを理解し実践することでその願いを叶えることができるのではないだろうか。

だから私はセールスマンでない人であっても、本書を読んでみる価値があると思う。解説中に出てくる31番目の心理的トリガーを胸に仕事にいかしていきたいと思う。



我が街紹介

日田支部 財津 加奈子

日田と言えば、天領・林業が有名ですが、日田のむかしからの食文化について紹介します。

日田は1000m級の山々に囲まれた盆地で街には大きな三隈川が流れている。海が遠く昔の人は三隈川を見て海っていった人がいたほど。昔は山の中で流通の便が悪く、川魚や鳥しかなかったので日田の伝統料理は鳥（かしわ）、川魚等が中心。いろいろな部位を大事に食べ尽くす文化。有名なのはもみじ（鳥の足）、川魚のお刺身せごし（新しい鮎を厚くスライスした骨付き）や、うなぎの湯引き（以前霧島酒造のCMに起用されていた）とてもプリプリしていた1度食べたらやみつきになりそうなほど。おいしい柚子こしょうで食べる。



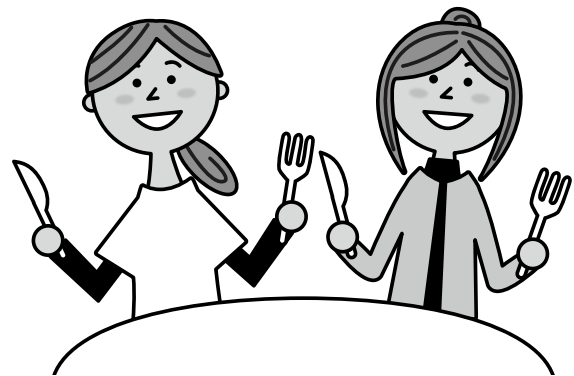
うなぎの湯引き

鮎のうるか（身うるか、にがうるか まこうるか 鮎の身や内臓、たまごのしおから）日本三大珍味です。味はアンチョビに近い感じ。たら胃（たらおさ）昔からお盆に食べる（たらのエラの乾燥）など。思えば幼い頃の祖父がおやつに買ってきてくれてガジガジした記憶があります。とてもグロテスクですが。今は食べれない。（気持ち悪い）

またなぜか大山町（進撃の巨人）の名産品がサバすし、お祭りや大事な日のもてなし料理。日田は山に囲まれ独特の食文化が発達した。



日田はやきそばが有名ですが、ちゃんぽんも有名です。日田のちゃんぽんの始まりは諸説ありますがある人によると、うどんから始まったらしいです。昔、久大線ができるかできない頃、あるうどん屋さんがちゃんぽんと言う食べ物があることを耳にし、実際のものは食べたことがなかったらしく、想像でうどんのつゆでスープを作ったのが始まりらしいです。日田のちゃんぽんはあっさりした醤油ベース。食べやすいのが特徴。日田に来られた際にはぜひ日田フードを食べて日田を楽しんでください。





マーボの旅先日記 その14

会長 井上正文

「琵琶湖北部の歴史・文化を訪ねて」

琵琶湖周辺は歴史文化であふれています。歴史的建築物においても滋賀県内に現存する国宝建造物は15ヶ所にも及びます。今回は、その中でも琵琶湖北部の竹生島（ちくぶじま）に現存する二つの国宝建造物にターゲットに訪ねたことを思い起こしながら筆を進めることにしましょう。琵琶湖周辺は言わずと知れた戦国武将たちが群雄割拠した戦乱の場としても有名です。私が旅先の目的地を決める場合、国宝文化財の有無は言うに及ばず、歴史的文化的の有無も大きな拠り所となります。今回の旅も国宝建造物巡りの一環ではありましたが、竹生島近辺には、秀吉が居城を構えた「長浜」や羽柴秀吉軍と柴田勝家軍が激突した「賤ヶ岳の戦い」の戦場に近いことも目的地選定の大きな要素となりました。長浜には古い町並みも残っていますし、「賤ヶ岳の戦い」で武勇を上げた「七本槍」として称される七人の武将（脇坂安治、片桐且元、平野長泰、福島正則、加藤清正、糟谷武則、加藤嘉明）のことも頭をよぎっていました。さらに「長浜」の町並みには、よく整備され戦国時代の雰囲気も十分に残されています（写真1参照）し、「黒壁スクエア」を中心とした町おこし活動にも興味津々でした。



写真2 日本酒「七本槍」

訪問先の選定にはもう一つ、大きな拠り所があります。食文化や日本酒です。両者はその地方の歴史や気候風土に関係があります。その昔、日本海で獲れた「鯖」を京の都に運んだ「鯖街道」や上記の7人の武将に因んだ銘柄名に冠した『七本槍（日本酒）』（写真2参照）もお気に入りだったこともこの地への訪問の大きなモチベーションでした。



写真1 長浜の伝統的町並み



写真3 国宝「宝厳寺・唐門」



写真4 国宝「都久夫須麻神社・本殿」

お目当ての竹生島にある国宝「宝巖寺（唐門：桃山時代）」（写真3参照）や国宝「都久夫須麻（つくぶすま）神社（本殿：桃山時代）」（写真4参照）には、長浜（今津港）から竹生島まで遊覧船（片道30分）が出ています。ふたつの国宝建造物は、隣り合って建っていますので、あたかもひとつの建物として見学可能です。このように寺院と神社とか隣り合って並び立つ形式は、神仏習合の一環からと考えられます。

長浜で味わった地元の郷土料理「鯖そうめん」（写真5参照）も紹介しておきましょう。鯖は上述したように、日本海で獲れたものを京の都まで運んでいた歴史的背景があります。このように地元の歴史風土に根ざした食文化に触れるのも、旅の楽しさを倍増させる大きな要因となります。



写真5 長浜の郷土料理「鯖そうめん」

琵琶湖を中心とする滋賀県の気候風土について触れて、筆を置くことに致します。滋賀県はそれほど大きな面積を有する県ではありませんが、長

浜を含む琵琶湖北部と大津を中心とする琵琶湖南部とでは、気候は大きく異なります。特に、冬場においては、北部は北陸地方に似通った多雪地帯で厳しい気候に見舞われますし、温暖な南部との気候の違いはかなり大きいようです。滋賀県訪問時には、この気候風土への認識にも配慮することをお勧めします。



事務局だより

■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について
連合会のHPに以下の内容が掲載されております。
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請
4. 国土交通省の対応
5. 関連情報

■委員会活動報告及び予定

総務委員会（法務部会）

<第1回>

令和2年10月16日開催 アートプラザ研修室
議題

1. 法務部会創設
2. 建築士法改正による登録事務の改訂
3. 歴史的建築物等の保存活用に係る建築基準法等関係法令の調査研究
4. その他本年度の取組

<第2回>

令和3年3月1日開催 アートプラザ研修室
議題

1. 歴史的建築物の保存活用に係る調査研究
2. リモート会議に関する取扱
3. 一級・二級建築士登録業務の現状

<会員増強特別期間>

例年のとおり、令和3年1月から3月まで「会員増強特別期間」を設け実施しました。

入会者特典や支部特典を設け、新会員の加入促進に努めました。

防災委員会

<被災建築物応急危険度判定現場研修会>

1. 令和2年11月22日 日田市にて開催
研修建物：公営住宅集会所 RC造平屋
2. 令和3年2月14日 津久見市にて開催
研修建物：公営住宅 木造平屋

調査研究委員会

1. 「おおいた木造塾」について

<第4回>

9月25日 県農林水産研究指導センター林業研究部

・林業、林産業の現状ほか

講師 林業研究部現場アドバイザー 城井秀幸氏

・実習 スギ材の曲げ強度試験ほか

講師 林業研究部 山本幸雄氏

<第5回>

10月3日 コンパルホール

・基礎知識1、2

講師 大分大学理工学部 田中圭氏

<第6回>

10月31日 コンパルホール

・部材と接合部の設計

講師 大分大学理工学部 田中圭氏

<第7回>

11月14日 コンパルホール

・中規模木造の構造と事例

講師 大分大学理工学部 田中圭氏

<第8回>

12月12日 コンパルホール

・ウォールスタット(木造住宅倒壊解析ソフト)の解説

講師 大分大学理工学部 田中圭氏

<第9回>

令和3年1月16日 コンパルホール

・伝統工法と社寺建築の実際「伝承された意思」

講師 (株)幸建設 幸孝文氏

<第10回・修了式>

令和3年2月6日 県総合社会福祉会館

・伝統構法建物の構造概要と簡易耐力計算法

講師 (株)川崎構造設計 川崎薫氏

講義終了後に、研修修了式が行われ井上会長より受講生へ木製の修了証が授与されました。

歴史的建造物委員会

<関崎灯台建造物調査等業務>

委託者：大分市教育委員会

場所：大分市佐賀関4057-2

期間：令和3年1月5日～3月24日

・灯台を登録有形文化財にするための調査

■事務局からのお知らせ

案内1

令和3年6月11日(金)の通常総会終了後、大分センチュリーホテルにおいて、永年会員表彰式と懇親会を予定しています。

賛助会員の方も出席されますので、会員も出席いただき交流を深めていただければと思います。

詳細は改めてご連絡いたします。

案内2

「建築士定期講習」開催について

令和3年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内します。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内3

「監理技術者講習」について

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」とりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

- 「毎月第2水曜日」に開催します。
- 時 間／8：50～16：40〔受付8：30開始〕
※8：45～8：50の5分間に講習の運営説明があります。
- 会 場／(公社)大分県建築士会会議室
- 形 式／DVD講習
- 定 員／各回4名程度
- 受講料／WEB申込 9,500円/窓口・郵送申込 10,000円
- ※受講申し込みは日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

案内4

「九州まちづくり塾」について

- ・令和3年8月20日
- ・姫島村にて開催

案内5

「建築士の集い 大分大会」について

- ・令和3年8月21日 J:COMホルトホール大分
- ※現在、大会に向けて準備中です。
- 各支部、ご協力の程よろしく申し上げます。

報告1

「第3回理事会」について

- 令和3年1月22日 コンパルホール
- ・令和2年度事業執行状況
 - ・令和2年度収支決算見込み
 - ・令和2年度支部公益事業執行状況
 - ・理事の退任
 - ・通常総会の日程
 - ・その他

報告2

「第4回理事会」について

- 令和3年3月18日 コンパルホール
- ・令和3年度事業計画案、収支予算案
 - ・令和2年度収支見込とその対応
 - ・リモート会議実施にあたっての諸課題
 - ・その他報告事項、今後の主な行事予定

会務行事案内

- 5月21日 第1回理事会
- 6月11日 総会・理事会・永年会員表彰式
懇親会
- 8月21日 「建築士の集い 大分大会」
- 11月20日～21日
「第63回建築士会全国大会 広島大会」



広報委員

委員長 長 <大分> 宮 崎 隆 博
委員 員 <別府> 山 本 健太郎
<高田> 清 末 幸 生
<大分> 後 藤 悟
<大分> 竹 宮 浩一郎
<佐伯> 志 賀 智 昭
<日田> 佐 藤 敏 孝
<中津> 日 高 雄 介

編集委員

担当常務理事 <大分> 宮 崎 隆 博
部 会 長 <高田> 後 藤 憲 二介
部 員 <大分> 高 橋 大 孝 太輝
<大分> 丹 生 山 秀 彰 彦
<別府> 小 山 藤 暢 徳
<臼杵> 佐 藤 田 光 治
<津久見> 竹 田 孝 順
<佐伯> 長 井 上 東 勇 治
<佐賀関> 伊 東 東 政 博
<豊後大野> 伊 東 東 政 聖 和
<竹田> 伊 東 東 政 聖 高 則
<玖珠> 後 藤 谷 高 雄 介
<日田> 熊 谷 高 雄 介
<中津> 日 高 雄 介
<宇佐> 古 市 憲 司

建築士おおいた

2021. 3 No. 126

(非売品)

令和3年3月31日 印刷

令和3年3月31日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0065	臼杵市大字家野 576 番地の 1 春建築設計室内	090-6779-7057
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会